

H27年度 第2回  
愛マップ・プロジェクト

---

平成27年7月4日（土）10：00～12：00

理科室

# 防災の難しさを考えよう

---

「防災」と聞いて思い浮かべるもの（前回の活動から）

- 避難場所の確認
- 非常用持ち出し袋の準備
- 避難訓練への参加
- 防災グッズの準備
- 耐震工事を行う
- ハザードマップの利用
- 家具の固定を行う
- 食べ物（水、カンパン）を備える
- 火災報知器を設置
- 防災ずきんの準備
- 緊急速報の利用
- 身分証明書の準備
- 靴を寝るところに置く

# 家庭での備えできていますか？

「首相官邸ホームページ」より、準備しておきたいこと

- 家具の置き方は工夫していますか？
- 食料・飲料などの備蓄は十分ですか？
- 非常用持ち出しバックの準備はできていますか？
- 家族同士の安否確認方法は決まっていますか？
- 避難場所や避難経路を確認していますか？



# みんなで考えよう①

## なぜ取り組んでいないのだろう？

みなさんは、防災対策にはどのようなものがあるのかを知っています。

しかし、みんながすべての防災対策に取り組んでいるわけではありません。

それはなぜなのかを考えよう。

「家具の転倒防止をした方がよい」ということは知っているよね。  
でもやれていない人も多いと思う。  
それはなぜなのかな？



# 「家具の転倒防止」をしない理由 みんなの意見

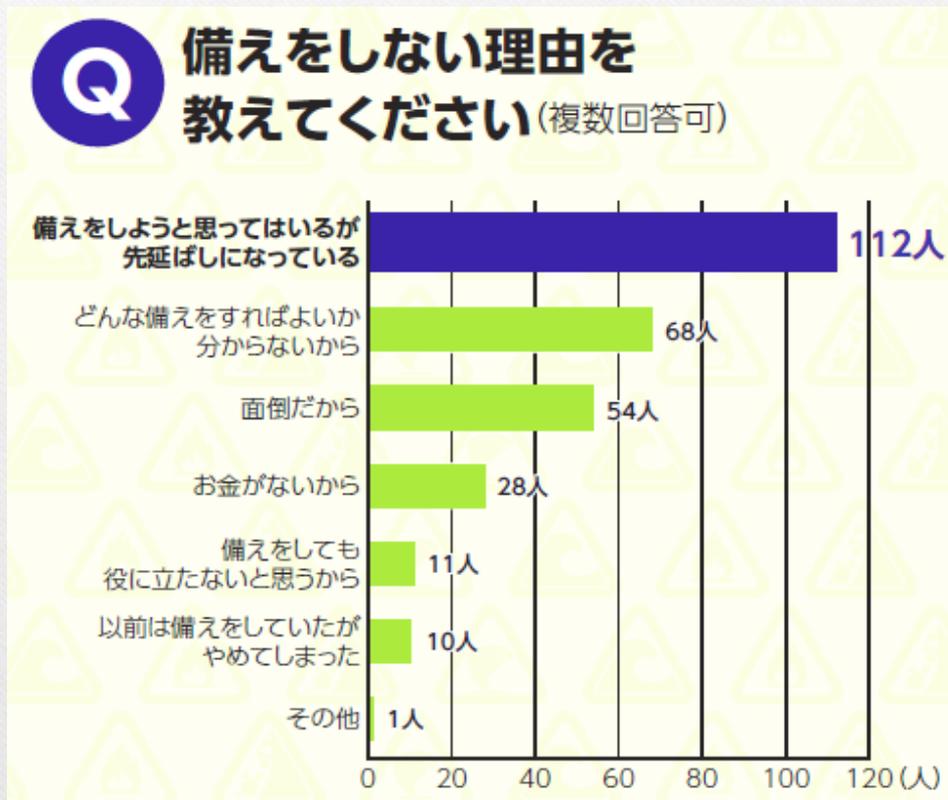
- 1班：面倒くさいから (5/5)
- 2班：お金がかかるから (5/5)
- 3班：準備しなくても大丈夫とってしまうから (2/5)
- 4班：災害の怖さを理解していないから、準備するものが分からないから (4/4)
- 5班：危機感がないから (3/4)
- 6班（大人）：危機感がないから (5/5)



# 「家具の転倒防止」をしない理由 世論調査

やろうと思っているが先延ばしにしているから	32.5
面倒だから	24.4
家具や壁などに傷をつけるから	10.9
お金がかかるから	10.9
地震が起きても転倒・落下・移動しないと思うから	10.8
固定しても大地震の時には効果がないと思うから	10.3
固定する方法がわかって自分ではできないと思うから	8.7
転倒・落下・移動しても危険ではないと思うから	8.6
どうやって固定してよいかわからないから	8.1
部屋の見た目が悪くなるから	3.8
その他	6.4
特になし	11.4
わからない	2.8

# 「家具の転倒防止」をしない理由 関大生のアンケート結果



# みんなで考えよう②

## なぜ面倒なのだろう？

防災対策をやらないことの大きな理由は「面倒だから」「先送りにしている」ということです。

なぜ「面倒だ」と感じるのかを考えよう。

わかってはいるんだけど、  
面倒だから、ついつい後回  
しになっていることって  
あるよね・・・



# 「面倒だ」と感じる理由 みんなの意見

- 1班：時間が無いから。
- 2班：楽しくないから。無いものを買に行かないといけないから。
- 3班：必ずやらなければいけないことではないから。  
時間がかかるから。
- 4班：災害が起きても平気だと思っ  
ているから。
- 5班：忙しくて時間がないのに、  
時間がかかるから。
- 6班（大人）：優先順位が低いから。



# みんなで考えよう③

## どうすれば防災対策をやってくれるだろう？

防災対策をやらなければいけない、と思っている、「面倒だから」となかなか取り組めない人に、取り組んでもらうようにするには、どうすればいいだろう。

特別な活動ではなく、身近な活動の中で「ついでにできる」ような対策や、「楽しいからやってみる」ような対策はないかな？

なにが「目的」なのか、  
よく考えてみよう。  
誰のためにやるのかな？  
どうしてやるのかな？



# 楽しい防災の「手段」 みんなの意見(1)

---

- 1班：防災スタンプラリー
  - 親もついてくる。クリアすればお菓子をもらえるようにすれば、子どもが参加する。
- 2班：まちを練り歩く
  - 友達と色んなところを見ることで、いざというときの避難場所が分かるようになる
- 2班：近所の人と仲良くなっておく
  - 家で一人の時に災害が起きても、近所の人と仲良くなっておけば、助け合うことができる
- 3班：イベントなどで防災グッズを配る
  - みんなが簡単にグッズを手に入れることができる
- 4班：（家の中の）ドアを開けておく
  - 風通しも良いし、いざというときの逃げ道にもなる

# 楽しい防災の「手段」 みんなの意見(2)

---

- 5班：スタンプラリー
  - 子どもが楽しめる。一緒に親が来て、親も学ぶことができる。
- 5班：避難訓練競争
  - 避難訓練の時間を競って、景品をあげる
- 6班（大人）：避難場所を中継するウォーキング大会
  - 中継点を通り過ぎるごとに何らかのグッズをもらい、ゴールすれば、防災グッズ一式がそろそろ。グッズは、企業に協賛してもらい提供してもらおう。
- 6班（大人）：非常食を使った料理教室
  - 用意したにも関わらず、賞味期限切れになってしまう非常食の活用方法を考える。
- 6班（大人）：防災BBQ大会
  - 小牧山で災害時の炊き出しのようなもの（豚汁など）を作る、BBQ大会

# 次回のお知らせ

---

## 第3回 愛マップ・プロジェクト



- 7/25（土）10～12時
- 多目的室（コンピューター室）